

第6回 K o s a i S a i k o L a b o (9月21日：れんが館)

○新規メンバーの参加

静岡文化芸術大学2年生(新居町在住)のNさんが新規メンバーとして加わり、早速、K S Lに参加していただきました。

○実施内容

1 移住・定住に関するアンケート(事務局依頼)

冒頭の10分間程度を事務局にいただき、移住・定住に関するアンケートに協力いただきました。その際、グループに分かれていただき、湖西市の利子補給制度について、簡単に意見交換をしていただきました。

意見としては・・・

- ・現状の利子補給制度はわかりづらい。もっと目に見える制度のほうがいい
- ・数年間でお金をもらう制度より、最初に大きな金額をもらえる制度のほうがインパクトがある
- ・銀行がやっている制度なのか、市が実施している制度なのかわからない
- ・人を呼び込むためには、弱い(インパクトがない)

などの御意見をいただきました。



2 P R ビデオ

前回の会で、P R ビデオ作成に関してのリーダーになっていただいたTさんが、P R ビデオのサンプルを事前に作成してきてくださり、それをもとに意見交換を実施しました。



リーダーのTさんからは、アイデア出し、撮影対象者探し、撮影、編集などのどこかしらに誰かしらメンバーが参加し、最終的にはK S Lメンバー全員が関わった作品にしたいとの意見がありました。

意見としては…

- ・音声はあったほうが良いのか？無いほうが良いのか？
- ・市内町中でのインタビュー（突撃インタビューのような）があっても良いかも。生の声はリアリティがある。
- ・バックミュージックが違うだけで、印象が変わる。
※Tさんのサンプルは、同じ映像で2種類バックミュージックのものを用意
- ・作成する動画の時間を最初に決めたほうが良いかも。
※Tさんのサンプルは約2分半。
- ・30秒から1分程度の動画を、何種類か作成したほうが良いかも。
- ・制度とかの行政っぽい内容よりも、ライフスタイルを撮影したものとか。年代別のライフスタイルを撮影しても良い。
- ・湖西市は飲食店などの数は少ないが、ディープなお店（知る人ぞ知る）が多いと思うから、そういうお店の紹介でも良い。
- ・何種類か作成して、全ての動画の最後に「あなたにとっての湖西市は？」などの、共通の質問を入れてもいいかも。最後の質問以外は、映像だけでも良いと思う。
- ・しっかりとしたビデオカメラじゃなくても、ハンディやスマホでも良いかもしれない。撮影する内容にもよるが、多少の手ブレとかは、映像に“味”がでる気がする。
- ・フランクな映像でもOK。K S Lらしいもので良いのでは。
- ・G o P r o もおもしろいかも。
- ・サーフィンや自転車など、湖西市ならではの人にスポットを当ててみては
- ・いろいろな種類は作成したほうが、You Tube とかで検索・ヒットしやすい。
- ・タイミング的には、湖西市でオリンピックを目指している人とか。
- ・大きなテーマ、教育・食・スポーツ・老後・子育て・仕事などを決めては？

などの御意見をいただきました。

Tさんがサンプルを作成してくれてきたこともあり、イメージがしやすかったためか、いろんな意見をいただきました。

またその後は、Tさんが持参したカメラを使用して、撮影のイメージなども確認してみました。



市
中

市の魅力動画でPR

若者会議でアイデア練る

湖西市の将来を考える若い世代による会議「Kosai Saiko Labo (KSL)」の会合が二十一日夜、同市鷺津の浜名湖れんが館であり、市内在住または在勤の十一人が参加した。六回目となる今回は、市の魅力をPRする動画を作るためにアイデアを出し合った。

人口減少や少子高齢化などの市の課題に対し、柔軟な考えを取り入れようと市が二十―三十代のメンバーを募集し、昨年十一月に「若い世代による意見交換会」として発足した。より親しみのある名前にしようと、五月にKSLに名称変更した。

この日の会合では、「音楽はイメージを左右するから大事」「サーファーや農家のおばあちゃんなど、市民一人の生活に密着した動画はどうか」「スポーツ、自然、教育などカテゴリーごとに動画を作ってみては」などの意見が出た。実際に一眼レフカメラを使って動画を撮る体験もした。

KSLは現在三十三人のメンバーがあり、随時募集している。〓市企画政策課 〓053(576)452 (片山さゆみ)

動画撮影を体験するメンバーら―湖西市鷺津で